

市議会議員の専門化について

飯能市議会議員 鳥居のぶあき

2013年9月29日

市議会議員の専門化については、賛否両論あります。

私の意見としては、市の職員は自分の担当部門についてのみ対応すれば良いのですが、市議会議員は、教育を含めた市内の行政はもちろんですが警察や河川、土砂災害、国道、県道などの県の事業をも含めた行政全般を担っております。

(この点が、外国の議員の仕事と大きく異なる点です)

しかも、一般質問の時のみならず、広範囲の団体(自治会、NPO...)や個人の方のご相談、ご意見、ご提案等への対応が求められ、どの分野でもそれなりの知識が必要で、勉強(視察も含め)が必要です。議員の側から行政に提案するとなれば、職員以上に知識が必要では無いかと考えます。

また、時間的にも議員活動は、ほぼ24時間態勢、土、日なし(市民の方のご相談等は土、日、夜間が多く、行政窓口は平日)ですから他の職業を持っていた場合、議会活動や議員活動にかなり制約が出てくると思います。その点から、片手間でやっていると余裕は無いと言うのが自分の考え、実感であります。

そして、他の職業と掛け持ちをしていた場合、委員会審査、議会審議、採決等の日程と、自分の仕事で重要な会議や試験の日程などが重複した場合、生活の掛かっている仕事、試験を放り出してまで議会活動を優先させることが出来るのでしょうか。この点が一番重要では無いでしょうか。会社員や個人店舗などの自営業の人や大学院生などが議員活動を兼務でやると言うことはまず無理では無いかと思えます。

この様な状況で、専業で無いと言う事は、仕事にかなり自由がきく立場の人、会社の経営者や資産家などではないでしょうか。

その結果、一昔前の様に議員は財力のある人に任せる、名誉職になっていくのでは無いでしょうか。

一方、ボランティアで議員活動をとのご意見も聞かれますが、先程も述べましたが、仕事や試験との優先順の問題の他に、市の各種審議会委員等にご応募される方は、ほぼ特定の人に固定化されている傾向にあります。

また、専門的知識や過去の経緯等をあまり知らないと、市執行部の説明を鵜呑みにして、市長や市側に独断的な行政運営をされる心配もあります。

この様な点から、私は、議員は専門的に行う人、兼務でやる人がバランス良くいることが大切であると考えます。

飯能市議会はほぼ半数ずつで、いいバランスだと思います。以上

(2013年10月10日全国市議会議長会で調査した資料もご覧下さい。鳥居のぶあきのホームページ表紙資料欄にある「議員の年齢、在職年数、専業等」でご覧になれます。・・・2013年11月30日追加しました)